

ブライアン・C・ヘルプマン医学博士

ブライアン・C・ヘルプマン医学博士は、非外科療法の第一人者で、奨励金による訓練を受けた、特別外科病院の認定スポーツ外科医で、急性・慢性筋骨格疾患の非手術的処置の分野を開拓しました。米国スポーツ医学会の創始者で、米国スポーツ治療医学研究会の会長を務めるヘルプマン博士は、アメリカ大リーグのニューヨーク・メッツ専属の副チームトレーナーとしての経歴も持っています。また、フェース・オブ・アメリカの役員として、世界中の障害を持つスポーツ選手と緊密に協力しています。ヘルプマン博士は、ロデイル書籍から出版された「スポーツ障害と健康ハンドブック」（2005年）および、「膝障害ハンドブック」（2003年10月）の著者としても有名です。博士が執筆したスポーツ傷害に関する記事は、「男性の健康」や他のスポーツ雑誌に発表されました。

公職

特別外科病院 副指導医
コーネル大学医学部 臨床医学 准教授

専攻

プライマリケアスポーツ医学

認定資格

スポーツ医学
家庭医療学

医師免許取得州

ニュージャージー州、ニューヨーク州

学位

米国コーネル大学医学部、医学博士号

研修医課程

米国メリーランド大学

特別研究員資格

米国ヒューストン・クリニック

臨床治療専門分野

急性障害
使いすぎ障害
スポーツ傷害
肩、上腕、手関節、手、背骨、腰、膝、下肢、足関節、足の疾患

受賞

2000年 米国スポーツ治療医学研究会 ヒューマニタリアン賞
1998年度エミー賞、ベトナム：Long Time Coming

代表的な出版物

膝障害ハンドブック（ロデイル書籍、2003年出版）
スポーツ障害と健康ハンドブック（ロデイル書籍、2005年出版）
「男性の健康」掲載の膝障害に関する記事

出版物の詳細については、PubMedの一覧表をご覧ください。